

○ 節 電 の ポ イ ン ト ○

夏期のピークカットにつながる節電方法について、比較的容易と思われる事例をご紹介します。お客さまにおかれましては、下記事例を参考に、ぜひとも節電にご協力をお願い申し上げます。

空 調

- オフィスの室温を 26 から 28 に設定する。
約 1.7% * の節電
- ブラインドやカーテンを閉めたり、遮光フィルムを貼り、日射負荷を減らす。
ブラインド等をしない時とくらべ約 3% の節電
- 空調時に取り入れられる外気の量を調整する。
約 8% * の節電
- 冷房効果が低下するため、吹き出し口付近には荷物を置かない。

照 明

- 昼休み消灯を実施する。（全点灯率 80% 56%）
約 2.4% * の節電
- 通路や窓際の照明の間引きを実施する。
例）10%の間引き消灯で、約 10%の節電
- 白熱電球（一般電球）から蛍光ランプへの取り替えを実施する。
例）約 75%の節電。なお、取り替えた場合に発生するコストは、約 10 ヶ月で回収できます。

一般動力機器

- 朝夕等の利用者が多い時間帯を除いて、エレベーターの運転台数を調整する。
例）省電力モードにより運転し、10時～11時30分、13時30分～翌朝8:00まで
7台中2台停止すると約 5% の節電
- 地下駐車場や倉庫等の給排気ファンを間欠運転する。
例）20分運転、10分停止のスケジュールの場合、約 30% の節電

そ の 他

- パソコンはスクリーンセーバーなどを解除し、省エネモードにする。また、長時間使用しないパソコンの電源はオフにする。

* 出所 財団法人省エネルギーセンター（<http://www.eccj.or.jp>）

* 各節電の効果は使用機器・使用状況により異なります。